

さ
かわ
ちよう

佐川町

歴史と文教のまち
酒・花・人がつむぐ
悠々の時を感じるまち



名教館(めいこうかん)／深尾家家塾として設立され後に郷校へ拡張。
江戸後期から幕末明治にかけ、多くの「文教人」を育てた。



佐川文庫庫舎(さかわぶんこしゃ)／須崎警察署佐川分署として明治19年建築。その後、青山文庫閲覧室、佐川文庫、民具館等として活用された。県下最古の木造洋館。



竹村家住宅

佐川町は、明治から大正にかけ、また昭和から平成にも多くの「文教人」を輩出してきた。
世界的植物学者牧野富太郎博士、幕末勤王の志士であり元宮内大臣の田中光頭伯を筆頭に、政治、文化、芸術、芸能などあらゆる領域で活躍した多士済々は佐川の誇りである。
藩政時代佐川を治めた山内家筆頭家老深尾氏の施策により培われた「文教」の風土は、酒造り、桜、歴史的な街並みとそれらを支える人々の活動等、現在へ引き継がれている。

【問い合わせ先】
佐川町役場 TEL0889-22-1111



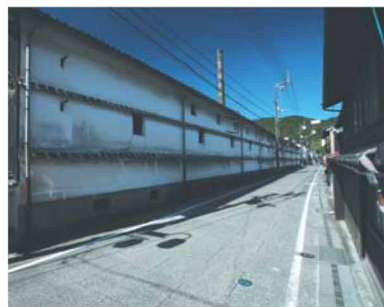
青山文庫(せいざんぶんこ)
山内藩筆頭家老深尾氏・坂本龍馬・中岡慎太郎・田中光頭の直筆を含む藩政期・幕末明治維新期の史料を展示。

【問い合わせ先】
青山文庫 TEL0889-22-0348

歴史的街並み

佐川町上町地区は、深尾家土居を中心に形成された「御郭内(こかくない)」の町人町であり、藩政期の姿をとどめた町割りや国指定重要文化財の竹村家住宅、牧野公園の桜、酒蔵の街並みは、「歴史のまち」佐川を体現するものである。

平成21年3月歴史的風致維持向上計画の重点区域に認定。



司牡丹酒造の酒蔵
【問い合わせ先】
司牡丹酒造 TEL0889-22-1211

「酒造り」のまち
晩秋から初冬にかけて、佐川は得もいえない芳香に包まれる。江戸初期から続く造り酒屋があるため、酒の香りが熟成する頃になると、芳醇な香りは白壁の蔵垣から溢れて、風に乘って四方に広がる。こうした風景・伝統・香りは、400年の歴史を持ち、佐川のまちに染みこんでいる。

DATA

総人口 14,159人
世帯数 6,238世帯
面積 100.84km²
人口密度 140.4人/km²

